

## ○北海道における林業労働災害の現況

造林や伐採などの森林作業は屋外での作業のため、天候の影響を受けやすく、さらに傾斜地等の足場の悪い場所で伐採物等の重量物を扱う作業が多いことなどから、労働災害の発生頻度は他産業に比べて著しく高い状況にあります。

死亡災害については、令和元年は道内で8件発生し、都道府県別では最も多い発生件数となりました。

### 1 令和元年の林業労働災害

令和元年の林業労働災害は、休業4日以上 の休業災害が94件と前年と比べ10件増加し、死亡災害についても前年より2件増の8件となりました。

	令和元年	平成30年	対前年
死亡者	8	6	+ 2
休業(4日以上)	94	84	+10
死傷者の計	102	90	+12

※ 資料:「労働災害発生状況」(北海道労働局)

### 2 業種別死傷年千人率の推移(死亡及び休業4日以上)

林業における労働災害の発生頻度は、全産業の中で最も高い状況にあります。

	全産業	林業	鉱業	建設業	製造業	運輸業	その他の産業
平成27年	3.0	22.4	11.2	5.3	5.9	7.2	2.0
平成28年	3.1	27.7	8.1	5.0	6.3	8.8	2.0
平成29年	3.1	22.0	11.9	4.8	6.2	9.3	2.1
平成30年	3.2	20.0	11.4	5.3	6.2	9.3	2.1
令和元年	3.1	22.6	13.0	5.1	5.7	8.5	2.2

※ 死傷年千人率:労働者千人あたり1年間に発生する死傷者数

※ 資料:「令和2年労働災害発生の動向」(北海道労働局)

### 3 林業労働災害 (平成22年～令和元年)

死傷者数は平成29年以降減少傾向でしたが、令和元年は再び増加し100件を超えました。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
死亡	11	5	4	4	4	4	5	5	6	8
休業4日以上	147	120	125	112	116	98	120	94	84	94
死傷計	158	125	129	116	120	102	125	99	90	102

※ 資料:「労働災害発生状況」(北海道労働局)

4 月別死亡災害発生状況(平成22年～令和元年)

月別では、3月が多く、除間伐、主伐を行う夏以降も多くなっています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死亡災害	3	4	9	5	6	5	2	4	5	3	6	4

5 経験年数別死亡災害発生状況(平成22年～令和元年)

経験年数では、10年前後が多く、40年以上の熟練者も多くなっています。

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上
死亡災害	6	4	10	13	4	6	1	5	1	6

6 年齢別死亡者数(平成22年～令和元年)

60歳以上が28人で、全体の5割以上となっています。

	20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上
死亡災害	0	0	2	7	19	19	9